［有明抄］（2019.4.29）

年　　組　　号（氏名）

○　コラム中のことばの意味について調べてみよう。（空欄は自分で選ぼう）

ことば	読み方	意　　味
長広舌		
けん責		
やくたい	漢字	
来し方		

○　12行目「幹事にそんな忖度をさせるようでは・・・という戒め。」の省略されている〝・・・〟に適する文章を考えてみよう。

○今日の有明抄にタイトルをつけてみよう。

有明抄

新作落語を得意とした故春風亭柳昇さんは「新作格言」なるものも数多く手がけている。〈乾杯の音頭を頼まれたなら要注意〉もその一つ◆パーティーや宴会で年配の偉い方の役回りだが、「メインの祝辞を頼むと、長々とやられて厄介。でも、何か一言ぐらいしゃべらせないと機嫌が悪いし」。幹事にそんな忖度をさせるようでは…という戒め◆乾杯と並ぶ大役が「締め」である。14日の「ひろば」欄で有田町の辻和俊さんが手締めの種類を詳しく解説されていた。〈3掛け3で9（苦）になるので、最後に1拍子を加え、九が丸になるように打つ〉という「一本締め」の由来や、1回だけ打つ「一丁締め」との違いを教わり、万が一忖度される身の上になったら、得意げに長広舌を振るうネタにしようなどと、やくたいもないことを考える◆大相撲春場所の優勝インタビューで「三本締め」をした横綱白鵬が日本相撲協会からけん責処分を受けた。辻さんの投稿を引くと、手締めは〈催事などを取り仕切った人が協力してくれた方々に、無事終了したことを感謝する〉ものだが、外国人力士でなくとも、こうした礼節を正しく理解できているか心もとない◆まもなく平成も終わる。お祝いの「万歳」か、感謝の「手締め」か。それぞれの来し方にふさわしい、いい締めくくりにしたいものである。（桑）

35　30　25　20　15　10　5